

## 青虫が750匹も多かったという計算 政治家のふところ温暖化の影響

きょうのセットに入る鈴木サトさんのキャベツの苦勞話というか自慢話を聞きました。

例によって、もちろん種まきから収穫まで、まったく農薬は使いません。で、この夏～初秋、いつまでも暑かったこともあり、害虫の発生は尋常ではありませんでした。

とにかく畑に行くたびに、害虫をつぶす作業に追われました。100株ほどの苗を植えたそうですが、1回の作業で、アオムシを60～90匹は手でつまんで取りつづけたとのことです。

昔の記憶では、ぐっと気温が下がってくる11月3日あたりが秋の作業を終える目安だったそうです。

と、ここで「記憶」からの連想で・・・

いきなり飛ぶけど、右の囲み記事は、自民党の機関紙?(産経新聞ニュース)からの転載です。偽装の水戸ホープ(赤城某)につづき、こいつも茨城

県選出なんだよねえ(恥)。

こんな輩が不要な軍事費を高上がりにして税金を食いつぶし、今度は財務大臣として国家予算を編成してるわけで、しかも消費税を値上げするとかなんとか・・・ふざけるなっの!

こほん、野良に話を戻します。

サトさんの記憶によれば、この秋、ぐっと気温が下がって、いよいよ冬が来るなど感じたのは、右の記者会見があった11月15日だそうです。やはり地球温暖化の影響が出てきているようです。その結果、虫とのたたかいが10日以上も長くなったと、サトさんは主張しています。

と、記事はまとまらないけど、自民・公明のごちゃっぺ政治や害虫はねのけつつ、なんとか丸くまとまり収穫できたキャベツです。畑での苦勞にも思いを馳せながら食べていただけたら幸いです。

## 「県北共同運動連絡会」が自治体を訪ねる

茨城県内の労働組合や新婦人、民商、農民連などで構成する「県民要求実現共同運動連絡会」がとりくんだ県との3日間にわたる懇談については7月に本紙No.475で報告しました。

これにつづき、各地域ごとの連絡会による各市町村との懇談がおこなわれています。県北では11月19日に、高萩市と北茨城市を訪ねました。

たとえば、来年4月からと

される後期高齢者医療制度に関しては、市の担当課でもとまどいが大きく、住民と怒りを共有できることなどもうかがえました。



### ■額賀財務相一問一答から(15日)

守屋氏が、宮崎元専務の接待の席に、額賀大臣が同席されていた、と話した。

「まったく、記憶にありません」

会食をしたことはない、と言ってきたが

「会食は、2人でやったことはありません。だから数人とか、大勢のなかでやったことはあると思います」

大臣はこれまで限られた人数の席で会食したことない、といったが?

「1対1ではありません」

限られた人数、と言われていた

「限られた人数というか、多数のなかでお会いしたり、はあったと思います。あるいは勉強会とか。でもそんなに、私は記憶に、何回も会ったということはありません」

福田総理には、どういう報告をされたのか  
「そういう記憶はありませんと、いうことを言っておきました」

パーティーなどでは一緒になったのか

「宮崎さんとじっくりと話したりとか、そういうことはありません。だから、接待を受けたことはありませんと云ってるわけです」

一緒に出席したことはあるか

「それもそんなに記憶ありません」

そんなに?

「そんなにというか、ありません」

ジェームス・アワー氏が来日した際、神田の料亭という話もあるが

「ジェームス・アワー氏の席に出たということは、まったく覚えがありません」  
守屋氏が言ってることはうそであると?

「いや、私は記憶にない。いってるわけです。私が接待したわけでもないし、招待を受けたわけでもないから、まったくそういう記憶はないわけです」

今日の証人喚問を受け、民主党が額賀大臣の参考人招致を検討、という反応があるが

「先ほど申し上げましたように、ジェームス・アワーさんの席に出席した覚えはないということ。それから、宮崎さんと、守屋さんと、接待を受けたことは一切ありません。これははっきりしています」  
ということは、守屋さんの勘違いということ?  
「それは私が答えることではありません」

記憶にない、ということだが、事実関係としてはもしかしたらあったかもしれない?

「ジェームス・アワーさんとの会合に出席したようなことはありません。覚えておりません」